

■上条嘉門次 登山ガイド。“上高地の主”として、多くの著名な登山家を案内し、伝説を残した。

かみじょうかもんじ

・ ・ ・ ・ ・ 1847= 松本藩の山間島々で農業を営み樵を副業としていた有馬又七の次男に生まれる。

ペリー来航・1853= 6歳：

松下村塾・・1856= 9歳：

五ヶ国条約・1858=11歳：\_松本藩樵小屋の炊事番として、父に付いて初めて上高地に上山、

桜田門外変・1860=13歳：この年まで、父に付いて樵をし、初めてカモシカを仕留めるなど、  
気に入った上高地で、猟師・釣師としてすごし、

禁門の変・・1864=17歳：\_藩の林の見回り人夫となる。

薩摩藩士密航1865=18歳：

明治維新・・1868=21歳：\_明治維新で失業するも、山中暮しを続け、

戊辰戦争終・1869=22歳：島々の富裕な豆腐屋上条孫次良の婿養子に望まれ、その娘と結婚して上条嘉門次となった後も、

廃藩置県・・1871=24歳：長男嘉代吉が誕生。

明治6年政変 1873=26歳：

佐賀の乱・・1874=27歳：

\_やがて上高地に最も詳しい存在となる。

大久保暗殺・1878=31歳：この年、初めて外国人(政府招致のイギリス冶金技師ガウランド)が上高地を訪れ、日本アルプスと命名。

・ ・ ・ ・ ・ 1880=33歳：\*上高地明神池畔に嘉門次小屋を建て、以後、山案内人として活動。(この年ガウランドを案内したらしい)

明治14年政変1881=34歳：

岩倉具視没・1883=36歳：

内閣発足・・1885=38歳：地図作成と地質調査に来た農商務省の技師を奥地にまで案内している。

初の対等条約1888=41歳：ガウランドが離日と入れ違いに、

帝国憲法発布1889=42歳：

\_ウェストンが牧師として来日し、

足尾鉍毒始・1891=44歳：\_初めて上高地来訪し、谷間で独り猟をする嘉門次を目にして驚く。

大本教・・・1892=45歳：ウェストンが再び上高地を訪れた際には出会わず、

郡司千島探検1893=46歳：旅館の紹介があつて、\_初めてウェストンを穂高岳に案内し、強い印象を与える。

日清戦争始・1894=47歳：日清戦争が勃発し、嘉代吉が召集される。志賀重昂「日本風景論」が出版され、日本人の登山も始まる。\_この年イギリスに帰ったウェストンが、

白馬会・・・1896=49歳：\*本国で「日本アルプスの登山と探検」を出版、世界に広く知られるようになる。

Bushidou・・1899=52歳：この頃、熊と格闘して大怪我をし、片足が不自由になるも、

嘉代吉とともに、さらに活動を本格化、

田中正造直訴1901=54歳：

教科書疑獄・1902=55歳：嘉門次不在中、横浜からきた若い会社員小島烏水を含む登山グループが小屋に宿泊。ウェストンが再来日。

日比谷公園・1903=56歳：のちに「槍ヶ岳の美観」を出版する丸山文台らが小屋に泊まる。

日露戦争始・1904=57歳：日露戦争勃発で、嘉代吉が再び出征。

日露戦争終・1905=58歳：今回は上高地を訪れることなくウェストンが離日。

満鉄発足・・1906=59歳：日本山岳会が発足。

\_この頃には“穂高仙人”と呼ばれ、

アラク創刊・1908=61歳：\*鶴殿正雄と穂高から槍への初縦走という注目すべき記録をつくる。辻村伊助のパーティを前穂高に、

伊藤博文暗殺1909=62歳：続いて烏帽子岳へ案内。

韓国併合・・1910=63歳：\_山岳会の発起人小島烏水を案内して、槍・鷲羽・薬師岳を縦走。

大逆事件判決1911=64歳：嘉代吉の案内で槍・穂高縦走下山した\_烏水を案内し、明神岳三本槍へ初登頂するなど、超人的肉体で、

明治天皇没・1912=65歳：再来日して上高地入りしたウェストンと再会し、旧交を温めた。

大正政変・・1913=66歳：嘉門次の求めに応じ、ウェストンが夫人を連れて上高地を再訪。

第一次大戦始1914=67歳：帰国予定のウェストンが上高地入り、最後の別れとなる。

21ヶ条要求・1915=68歳：焼岳が大爆発するも同ぜず、

民本主義・・1916=69歳：\_慶大山岳部榎有恒を案内し、カナダ人ドントをしてまだ50前に見えると驚嘆させているが、

ロシア革命・1917=70歳：\*慶大山岳部藤山愛一郎らを伴い、穂高・槍・烏帽子縦走したのを最後に、没した。  
黒部の遠山品右衛門と並び、く上高地の主として、多くの伝説的なエピソードが残っている。上高地を中心とした穂高・槍ヶ岳などで、子の嘉代吉と共につづいた功績はきわめて大きい。猟師としても抜群の腕をもっていた。

さえら伝記ライブラリ「日本の山に生きた人々」、「この人どんな人」、